

平成25年 4月30日

# 生命システム科学特別講義

下記のとおり招聘講師による生命システム科学特別講義「分子生命科学」を開催いたしますので、受講大学院生以外にも興味のある方は（学部生も可）ご参集くださいますようにご案内申し上げます。

## 記

日 時：平成25年 5月15日（水曜日）

午後1時～午後2時半

場 所：庄原キャンパス2201講義室

遠 隔：広島キャンパス1239講義室

三原キャンパス4209講義室

講 師：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

医療科学専攻先端生命科学講座 教授

松田 尚樹

## —環境中の放射性物質による健康リスクの アセスメントとそのコントロール—

東京電力福島第一原子力発電所事故で放射性物質は一般環境へ大量に放出されたことは記憶に古くありません。今でも福島県内は国際放射線防護委員会（ICRP）の定義による「現存被ばく」の状況であり、被ばくの程度を定量化して将来の健康リスクを評価し専門家以外の人たちに正しく伝えて、どのように施策に反映させるのが課題です。本講義では、被ばく線量の推定からリスクの判断にいたるまでの過程について、現在進行中の調査内容や結果を踏まえて紹介していただきます。

なお、松田先生は以下のような原子力行政にかかわる役職を歴任されておられます。

役職：日本放射線安全管理学会副会長兼企画委員長、日本アイソトープ協会科学諮問委員兼放射線安全取扱部会副会長・企画委員長、大学等放射線施設協議会理事、長崎原子爆弾後障害研究会理事、長崎・ヒバクシャ医療国際協力会運営部会委員、福島県民健康管理調査線量評価委員、岩手県放射線内部被ばく健康影響調査有識者会議委員、原子力安全基盤機構周辺住民への被ばく経路別放射線影響評価検討会委員、放射線医学総合研究所内部被ばく線量評価調査専門委員、九州電力原子力の業務運営に係る点検・助言委員

連絡先：庄原C（5303）達家雅明  
ゲノム制御システム生物学（オーロラ）研究室